

様式1(主な取組)

活動指標名	戦後の米国統治関係写真及び動画の収集数				H30年度			H30年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	6,314点	14,900点	42.3%	13,867	大幅遅れ	米国国立公文書館に所蔵されている戦後の米国統治に関する収集対象の写真6,314点の収集と、そのうち4,632点の翻訳・目録の整理を行った。
活動指標名	戦後の米国統治関係写真及び動画のキャプション収集数				H30年度					
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
	—	—	—	84,329点	—	—			平成30年度に収集すべき写真等の数量は、米 国公文書館での資料貸出申請数や撮影条件に 制限があることが判明したことから、事業開始前 に計画していた14,900点から6,300点に変更し実 施した。変更前の計画値に対しては「大幅遅れ」 であるが、変更後の計画値に対して目標値は達 成していることから、順調に取組みを推進した。	
活動指標名	資料の選定(収集すべき戦後の米国統治関係写 真及び動画の選別)				H30年度					
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	44,700点	—	—				
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成30年度の取組改善案						反映状況				
<p>①公開に向けた写真・動画の収集・解説(翻訳)作成等に関する課題を共有し、改善策について協議するため、県、事業受託者及び公文書館指定管理者との定例会等を実施し、協力体制の構築を図る。</p> <p>②利用者アンケートについて、資料整理の仕方や注釈についても参考とできる質問項目を検討していく。</p>						<p>①事業の実施にあたり発生した課題については、随時、県、事業受託者及び指定管理者で共有・協議し改善に繋げる等、事業の円滑な推進に繋げた。</p> <p>②利用者アンケートの設問内容やホームページ上でのアンケート掲載場所について、公文書館指定管理者と調整等を行い、引き続き、資料の利便性の向上及び理解度の促進に繋がれるよう検討を行った。</p>				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・米国国立公文書館の資料貸出申請の制限を考慮し、利用者ニーズの高い資料を優先的に収集する等、最終的に収集資料を運用することとなる公文書館指定管理者の公開基準に合わせる必要があるため、県、事業受託者及び指定管理者との連携が必要である。

○外部環境の変化

・インターネット公開に向け、引き続き利用者のニーズの把握に努めるとともに、資料のわかりやすい翻訳や解説の充実と、閲覧しやすい資料掲載方法を確認する必要がある。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・資料の解説(翻訳)については、資料閲覧状況や利用者アンケートを参考に分析するなど、理解促進につながるものとする必要がある。また、資料の公開にあたり、公文書館ホームページの改修や広報の方法等を確認・検討する必要がある。

・資料が計画どおり収集できるよう 米国国立公文書館の資料貸出及び利用環境の確認を行う等情報収集を徹底し、事業を推進する必要がある。



4 取組の改善案(Action)

・事業の実施にあたり、公開に向けた写真・動画の収集・解説(翻訳)作成等に関する課題を共有し、対応策を協議するため、県、事業受託者及び公文書館指定管理者との協力体制の構築を図る。

・資料の公開に向け、利用拡大を図るためのホームページ改修や、新聞、広報誌等を活用した周知手法の検討を行う。